


農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共生環境課程・准教授・濱上 邦彦	
紹介する研究シーズ名	閉鎖性水域の流動特性および水生植物による浄化作用を考慮した流動-水質予測モデルの構築	
キーワード	ため池、水生植物、水質浄化	

シーズの「売り」は！！

水生植物の繁茂する水域内の流動・水質現象に関して、物理的側面、生物化学的側面それぞれから検討しています。

【概要】ため池における水質改善の一手法である水生植物の栄養塩吸収能を用いた水質浄化法について、その適切な管理手法の確立を目指しています。

【詳細】閉鎖性水域の流動という物理的現象と、水生植物による水質浄化作用という生物化学的現象は相互関係があるにもかかわらず、既往の研究では個々に取り扱われています。そこで、本研究では、物理的現象および生物化学的現象の相互関係を考慮した、水生植物の繁茂する閉鎖性水域における流動-水質予測モデルを構築します。

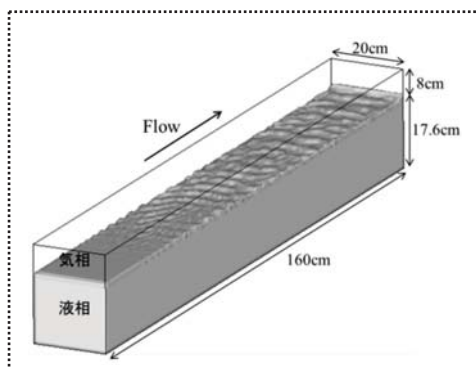


図1. 風波の再現計算



図2. 植生の生育実験

【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

本研究における流動-水質予測モデルを構築することで、水生植物が水質浄化能を最大限発揮するような水域管理手法を検討することができます。

関連特許・関連資料等